

第2期 麻績村総合戦略 評価検証報告（令和4年度）

★Check（評価）

重要業績評価指標（KPI）等において、令和4年度の実績を赤字にて記載しています。

- 1 ★1 については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業の実施中止又は実施回数減の項目となっており、新型コロナウイルス感染症のため、人が集まるような事業、外部との交流やイベント等ができない事業があり数字に表れています。
- 2 そんなコロナ禍ではありますが、感染拡大防止対策を講じることにより子育て相談や世代間交流・伝統文化活動、土曜学習や職場体験等が大幅に増加、聖博物館入場者数や観光地利用者数等も感染拡大前の状況を上回りKPIの目標値を達成しています。▶ P4～6、P9～10、P27
- 3 児童生徒一人一台タブレットが導入されたことにより、体験学習を基盤とした情報通信技術（ICT）の活用と情報教育の拡充が図られ、他地域の学校等とのインターネットを利用した交流事業の増加につながっています。▶ P7
- 4 KPIの目標値には届きませんでした。移住者も増加傾向にあり令和4年は、人口移動調査により東筑摩郡で麻績村のみ社会増という結果になりました。また、空き家改修等事業補助金を新設したことにより、空き家登録件数も着実に増加しています。▶ P28～29

★Action（改善）

- 1 新型コロナウイルス感染症も感染症法上の位置づけが「5類」に移行されました。中止を余儀なくされていた行事・イベントを順次再開をし、少しずつ感染拡大前の状況に戻れるよう、事業を展開していく努力が必要です。
- 2 引き続き移住定住促進住宅を今年度4棟建設するとともに、空き家改修等事業補助金等を活用し、更なる移住定住に結び付く施策を展開することで、人口増加に繋げていくこととします。